

# 生鮮食料品がみなさんに届くまで



## 中央卸売市場の役割

中央卸売市場は、食生活にかかすことができない、青果(野菜・果物)、水産物(魚・貝類など)、食肉(牛肉・豚肉)などたくさんの品物(生鮮食料品と呼びます)を日本各地や海外から集め、適正な値段を決めて、八百屋さん、魚屋さん、お肉屋さんやスーパーなどに販売する役割を果たしています。皆さんの豊かな食生活を支えるための大切なしくみです。

## 中央卸売市場で働いている人たち

<p><b>卸売業者</b></p> <p>日本各地や海外から品物を集めて、仲卸業者や売買参加者に売る人たちです。</p>	<p><b>仲卸業者</b></p> <p>卸売業者から買った品物を市場の中のお店で、*買出人に売る人たちです。 *買出人とは、八百屋さん、魚屋さんやスーパーなどまちのお店の人です。</p>	<p><b>売買参加者</b></p> <p>まちのお店の人や食品を加工する業者などで、仲卸業者と同じように卸売業者から直接品物を買うことができる人たちです。</p>
<p><b>関連事業者</b></p> <p>市場の中で働く人たちが便利のように、食堂、売店、倉庫業などを営む人たちです。</p>	<p><b>開設者(名古屋市)</b></p> <p>施設をつくって管理するほか、取引の指導・監督をしています。</p>	<p><b>衛生検査所(名古屋市・愛知県)</b></p> <p>OK!! 食品の安全を確認するため、監視や検査をしています。</p>

